

Press Release

2024年1月29日
株式会社稲村屋
鹿島建設株式会社

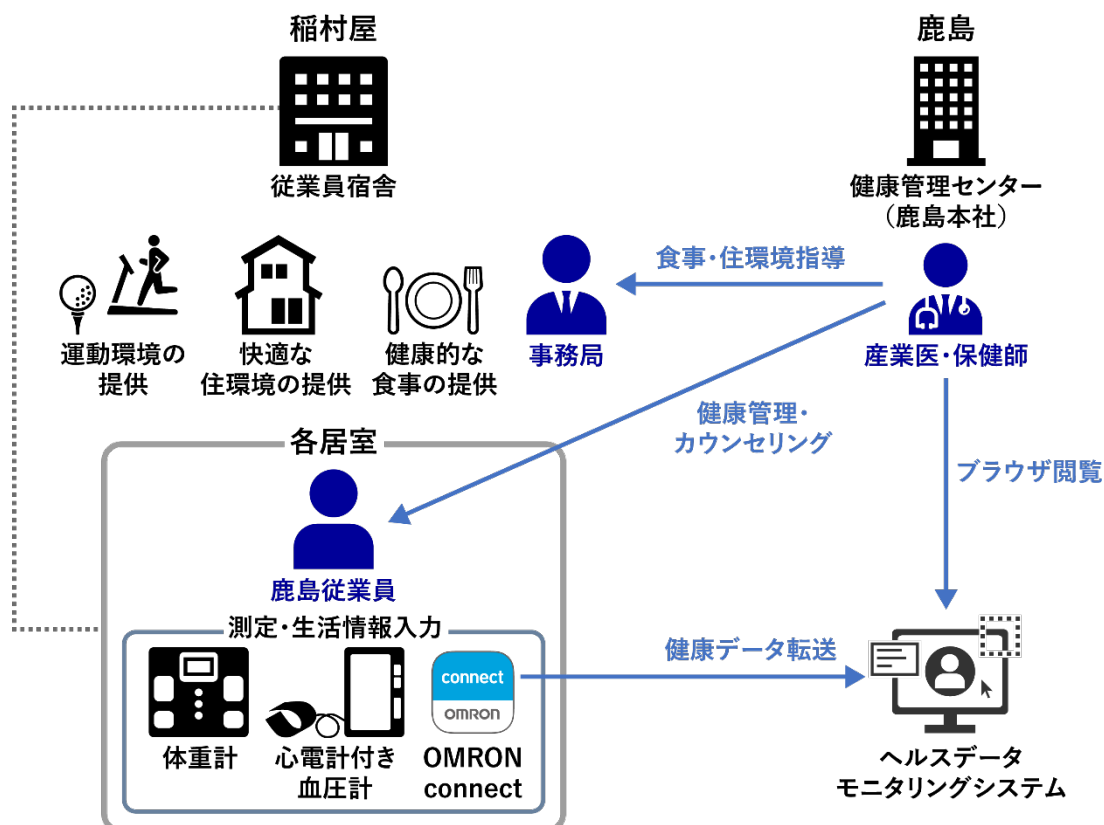
～従業員の健康を守る！健康経営®（※1）の取り組み～
遠隔地赴任従業員のための健康管理システムの運用を開始

株式会社稲村屋（以下「稲村屋」）と鹿島建設株式会社（以下「鹿島」）は、稲村屋が運営する宿舎に宿泊し、東日本大震災の復興工事に従事する鹿島従業員15名の健康状態を、遠隔でリアルタイムに把握・管理する取り組みを開始しました。具体的には、オムロンヘルスケア株式会社（以下「オムロンヘルスケア」）が開発した遠隔健康管理システム「ヘルスデータモニタリング（※2）」を活用し、現地で働く従業員のバイタルデータと生活情報を収集、鹿島本社の健康管理センター（東京都港区、以下「健康管理センター」）が従業員の健康状態をwebブラウザで常時把握できるようにします。

稲村屋と鹿島は今後も、従業員の安全で健康的な生活環境の形成を図ることで、健康経営をさらに推進してまいります。

※1 NPO 法人健康経営研究会の登録商標

※2 オムロンの通信機能付き健康医療機器で測定したバイタルデータを OMRON connect 経由で、指定先と共有できる健康管理システム



【取組みの背景】

鹿島では従業員が遠隔地へ長期赴任するにあたり、必要に応じて健康診断を行い赴任地での業務に支障がないことを確認しています。一方、赴任期間中に、従業員が脳・心血管疾患を発症したり、偏った食事により体重が増加するなど、赴任先における健康維持への不安は払しょくし切れていないのが現状です。これに対し鹿島は、被災地で働く従業員に産業医による定期問診を行っていますが、健康状態を常時把握・管理することは難しく、健康不安が業務に影響を及ぼすことも懸念されていました。さらに、2024年度からは建設業にも残業時間の上限規制が適用されることもあり、従業員の健康状態を常時把握・管理する重要度は一層高まっています。

【取組みの概要】

本取組みは、東日本大震災の被災地で宿舎を運営する稲村屋が現地事務局となり、オムロンヘルスケアの健康機器およびシステムを使用します。

具体的には、宿泊中の鹿島従業員が朝と夜の各1回、宿舎の各居室に設置された心電計付き血圧計 HCR-7800T と体重計 HN-300T2 で測定したバイタルデータ（心電図、血圧、脈拍、体重等）と、各人の生活情報（服薬、運動、飲酒、睡眠、喫煙、塩分、野菜摂取）（バイタルデータと生活情報を合わせて、以下「健康データ」）を、オムロンヘルスケアのスマートフォン健康管理アプリ「OMRON connect」を活用し、ヘルスデータモニタリングシステムに転送します。健康管理センターの産業医・保健師は、専用の web ブラウザで健康データをリアルタイムに把握でき、現地に足を延ばすことなく従業員の健康状態を常時管理できます。さらに異常値等が認められた際には、リアルタイムでアラートが発信され、健康管理センターにて必要な指示や処置を迅速に行うことができます。

【今後の展開】

今後、稲村屋と鹿島は、本事業の継続実施への課題を確認しながら順次対象者数を増やしていく方針です。両者は、相互に連携協力体制を維持し、人命尊重の理念に基づき、健康経営をさらに推進してまいります。

【関係事業者の役割】**稲村屋**

- ・事業主体
- ・鹿島従業員への住環境の提供
- ・同従業員への健康的な食事提供と産業医の指示による食事サポート
- ・同従業員への運動環境の提供（ゴルフ練習場、スポーツジム等）
- ・現地事務局（管理事務業務、設置機器サポート等含む）

鹿島

- ・全体統轄
- ・健康データを活用した従業員の健康管理・カウンセリング

(オムロンヘルスケア)

- ・健康機器・システムの提供およびサポート
 - 心電計付き上腕式血圧計 HCR-7800T
 - 体重計 HN-300T2
 - OMRON connect
 - ヘルスデータモニタリングシステム